



再生可能エネルギー国際会議 RE2010 産総研セッション

エネルギー技術研究における国際研究協力の役割

エネルギーの安定供給と地球環境の両立のため、ますます高度な技術開発が必要となってきた。またエネルギー問題は個別国のみの課題ではないこともあり、国際的な協力による研究の深掘りを通じた画期的なブレークスルーがいま大きな注目を集めている。本セッションではエネルギー技術開発のさまざまな課題に対する産総研と海外研究機関の研究協力を報告し、その役割、あるべき方向、さらに今後の展開について議論するとともに、各課題における最新の研究動向を紹介する。

日時：2010年7月1日（木）13:00 - 17:15（開場 12:30）

場所：パシフィコ横浜 会議センター 502
神奈川県横浜市西区みなとみらい1丁目1-1

プログラム（言語：英語および日本語）

- 13:00-13:10 開会挨拶と趣旨説明
産総研 研究コーディネーター 大和田野 芳郎
- 13:10-13:25 紹介講演「水素エネルギー技術研究における国際協力」
産総研 エネルギー技術部門 水素エネルギーグループ長 中村 優美子
- 13:25-14:25 講演1 「水素貯蔵材料の原子構造の解明」
ロスアラモス国立研究所 トーマス・プロフェン博士
- 14:25-14:40 休憩
- 14:40-14:55 紹介講演「エネルギーネットワーク研究における国際協力」
産総研 エネルギー技術部門 エネルギーネットワークグループ長 村田 晃伸
- 15:55-16:55 講演2 「マイクログリッド：スマートグリッド（SG）の要素としての展開」
ローレンス・バークレー国立研究所 クリス・マーネー博士
- 15:55-16:10 紹介講演「パワーデバイス研究における国際協力」
産総研 エネルギー技術研究部門 電力エネルギー基盤グループ長 西澤 伸一
- 16:10-17:10 講演3 「炭化ケイ素生成過程の数値シミュレーション：
電子工学に於けるエピタキシャル構造設計のための評価ツール」
グルノーブル理工科学校・国立科学研究センター・ジョゼフ・フーリエ大学、ドマーネ大学
ミッシェル・ポンス教授
- 17:10-17:15 閉会挨拶
産総研 エネルギー技術研究部門長 長谷川 裕夫

お申込み＆お問い合わせ

下記ホームページからお申込み下さい。
<http://unit.aist.go.jp/energy/event/20100701/>
お問い合わせ先 産総研セッション事務局
E-mail:re2010@m.aist.go.jp

参加費
無料



独立行政法人
産業技術総合研究所